

山行報告書

報告書作成

2008年10月14日

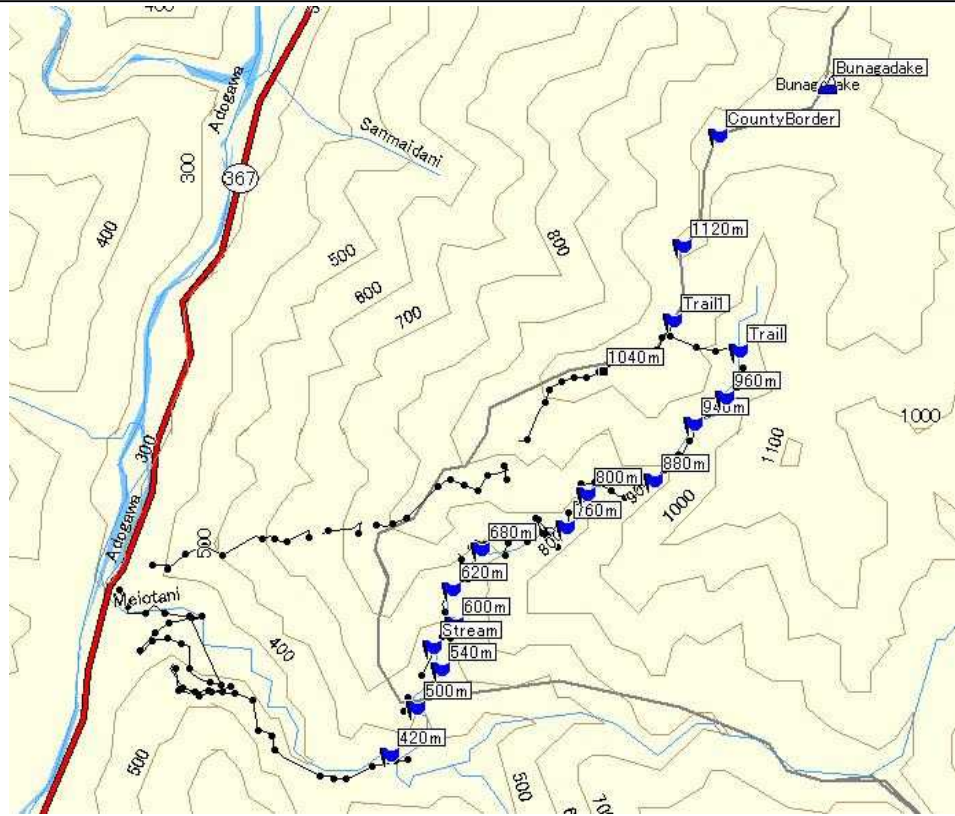
山名 [山域]	湖西 武奈ヶ岳山系 口ノ深谷	目的と方法	他の山岳会との合同登山
登山期間	2008年10月4日(土)	山行形態	沢登(日帰り)
参加人数	OAC5名、CAC2名、KAC2名、合計9名		

行動記録

10月3日(金)22時刈谷運動公園集合 = 0時23分琵琶湖大橋道の駅(仮眠)、10月4日 6時起床、7時30分P(今回ゲートクリア出来ず) - 8時30分明王谷 - 10時10の滝 - 10時35分岩間2段 - 11時20分ガリ - 13時30分トコ状2mの上 - 斜瀑5m - 15時40分登山路(休憩、16時05分発) - 16時30分御殿山頂上 - 17時40分明王谷 P = 18時20分朽木温泉てんくう

概念図

青い旗が予定コース
黒い点がトレース



日誌

当初昨年天候不順で中止した裏剣山行を検討していたが、3日間は空けられなくなり、中止し急遽この計画に参加させていただいた。今年は沢登りに1度も参加出来ずにいたため、大変楽しみだ。最近西に向う計画の時よく使う、刈谷総合運動公園に22時に集合し亀山IC経由で琵琶湖大橋を目指した。到着は0時を過ぎていたが、久ぶりにお会いた、旧OAC会員のY&Iさん、KACの2名と軽い宴会をしてから就寝した。翌日は6時起床ですでに明るい、急いで支度をし、明王谷に向った。昨年は林道のゲートをクリアしたが今年はこちらで駐車し約1時間の林道歩きをすることになる。昨年チャレンジした奥ノ深谷との分岐で装備を着け、沢に入る。最近急に秋らしくなり、水が冷たいと心配したが、今日は比較的暖かい。沢登りのガイド書を参考に高度を稼ぐが、変化の有る、楽しいコースであった。所々でロープを出し確保していただくが、苔が生え滑り易いコースのトップは大変であった、殆どCLのKさんをお願いした。沢を登り詰めると登山路に合流した空き地で休憩するが、この時点で16時を過ぎていたため、武奈ヶ岳の登頂を中止し、御殿山経由の登山路で下山した。秋の日はつるべ落とし、林間では急に薄暗くなったが、林道はまだ明るい内に、車に到着した。温泉は以前行った、てんくうの湯まで国道で北上し、食事をした後、日帰り組み3人は分かれ岐路に着いた。

感想

今年最初で最後の沢登りになったが、比較的暖かで、快適なコースであった。レベルの高い、他の山岳会との交流も楽しく、良い刺激になった。